

この度は、車速ロックキットをご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。
 車両に接続する前に必ず裏面の検査を行って、本商品が正常であるということを確認してください。

基本キット製品構成 ・コントローラー(緑1) 1個 ・ヒューズ付き専用ハーネス 1セット ダイオード 3本

配線方法

ケーブル線色	説明と主な接続先
① 黒	ボディアースへ接続。
② 赤	常時電源の+へ接続。
③ 青	アンロック線 詳細は、キーレス基本結線図。
④ 緑	アンロック線 詳細は、キーレス基本結線図。
⑤ 紫	アンロック線 詳細は、キーレス基本結線図。
⑥ 青/白	ロック線 詳細は、キーレス基本結線図。
⑦ 緑/白	ロック線 詳細は、キーレス基本結線図。
⑧ 紫/白	ロック線 詳細は、キーレス基本結線図。
⑨ 茶	サイドブレーキ線またはATのPポジションランプへ接続。
⑩ 灰	車速信号へ接続。
⑪ 黄	ACCまたはL端子へ接続。
注意事項	接続しないコードは、必ずテープ等で絶縁してください。

※ 純正車速ロックで運転席がロックされない車両(例日産車)は、必ずロック線も配線してください。
 基板内ジャンパー設定について。(ジャンパー設定をするときは、基板の回路をショートしないようにしてください)

ジャンパー設定	JP1:0 JP2:0	JP1:1 JP2:0	JP1:0 JP2:1	JP1:1 JP2:1
ロック車速	遅い	やや遅い	やや速い	速い

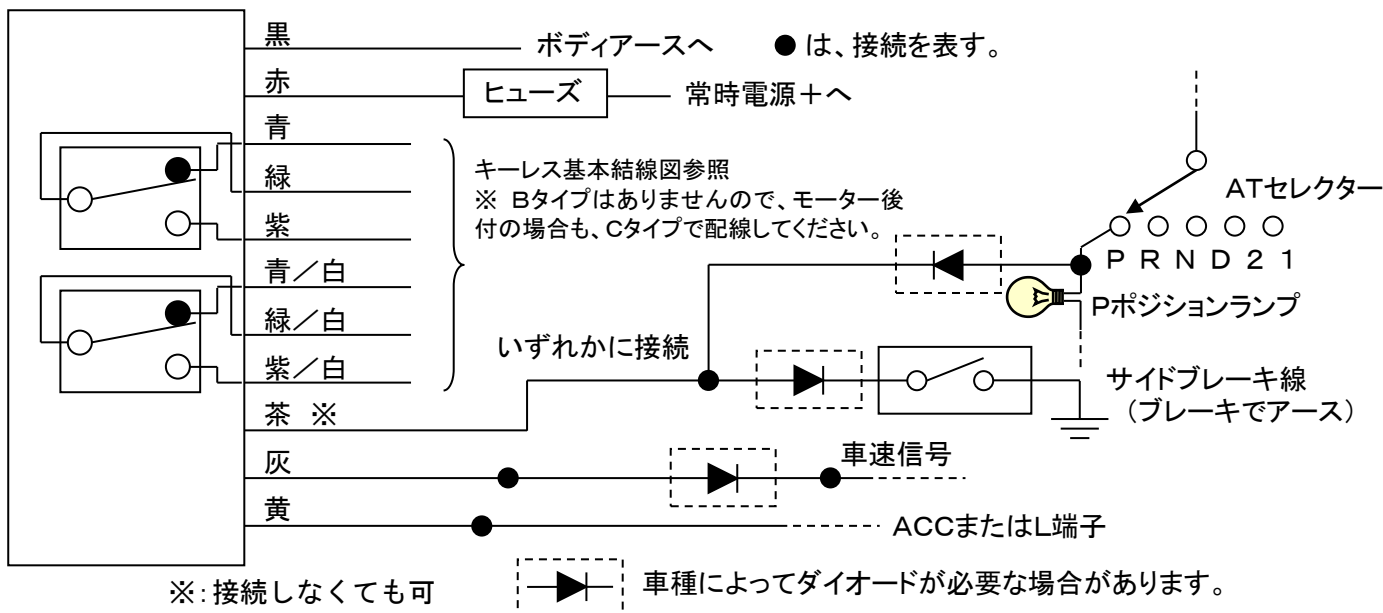
設定0:ジャンパーターミナル(黒い樹脂)を付ける 設定1:ジャンパーターミナルを外す
 車種によってロック速度は変わります。例:ほとんどのトヨタ車はやや遅いにすると約16Km/Hでロックします。
 ※ ⑪黄線をL端子につなぐと、エンジンが止まれば自動的にアンロックします。L端子につながない場合は必ずACCに接続して下さい。イグニッションキーをオフにするとアンロックします。
 ※ ⑨茶線をサイドブレーキに接続すれば、サイドブレーキを引くとアンロックします。ATのPラインに接続するとATセレクターをパーキングにするとアンロックします。接続しない場合は絶縁してください。

初期化方法

本装置の⑨茶線は、プラスコントロールかマイナスコントロールか自動認識します。本装置のカプラーを接続する場合は、必ずエンジンをかけて、ATセレクターをパーキングにして、サイドブレーキをかけた状態で行って下さい。
 ※ カプラーを挿して約2秒後に動作確認のため、アンロックします。
 ※ バッテリー交換等で電源がオフされる場合は、キットを再学習させる必要があります。

基本結線図

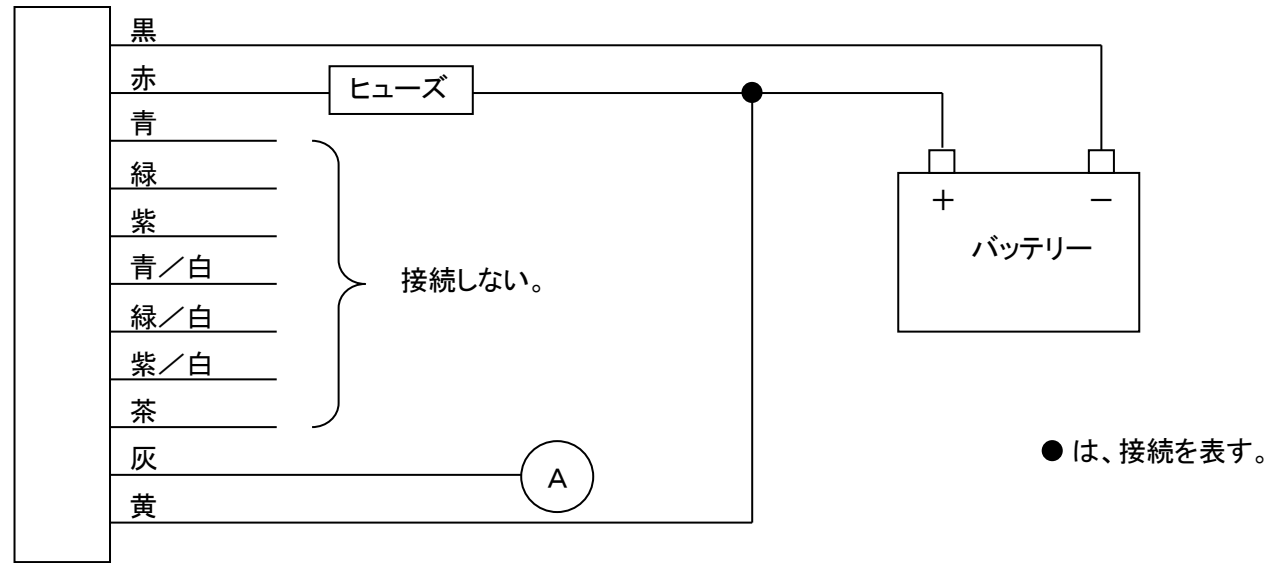
■ 配線するときは必ず11ピンのコネクタを抜いて作業してください。



車速ロックキット検査方法

車両に接続する前に必ず以下の検査を行って、本商品が正常であるということを確認してください。

■ 配線するときは必ず11ピンのコネクタを抜いて作業してください。



1. キットの赤線と黄線をバッテリーの+に接続する
2. キットの黒線をバッテリーの-に接続する。
3. 11ピンコネクタをキットに差し込む。
4. 2秒後リレーの「カチッ」という音がする。(アンロックリレーが作動。)
5. 灰色の線(図のA)をバッテリーの-に断続的に接続する。(1秒間に3回以上、接続させたり、離したりする。)
6. リレーの「カチッ」という音がする。(ロックリレーが作動。)
7. キットの黄線のみをバッテリーの+から外す。
8. リレーの「カチッ」という音がする。(アンロックリレーが作動。)

1から8項まで飛ばしなしで、すべて動作すれば、本キットは正常です。実際に車両に接続して正しく動作しない場合は、配線に問題がありますので、配線関係を見直してください。

■ 手動でアンロックした後、再度車速ロックさせる方法

1. 茶線を常時+電源に接続した状態でコネクタを挿し、5秒待つ。
2. コネクタを抜かずに茶線をアンロック線(アンロック時+出力、運転席ドアロックモーターの片側)に接続。
※再ロック機能とパーキング(+出力)を同時使用する場合はそれぞれのラインにダイオードが必要になります。
※サイドブレーキ(-出力)と再ロック機能は、同時使用できません。

